

みどりを大切にしたい まなびの心を進めよう

北の小金井公園、そして南の野川や武蔵野公園にある豊かな緑や湧水などの自然は小金井市民全体の財産であり、将来を担う子どもたちのためにも守っていかなくてはいけません。既に始まっている小金井桜の復活や、市内の公園で行われている花植えボランティアのほかにも、こうした野川周辺の緑のサポート・育成制度も提案していきます。

市内の貴重な農地はしだいに少なくなってきました。子どもたちには、市内にある農地の価値を農業者と農業体験を通じて考える活動を進め、地産地消による食育を進めます。さらに、郷土で大切に守ってきた文化や伝統を継承し、郷土と地域を大切にすることを育てたいものです。また、使われていない農地は所有主の理解と協力を得て、子どもたちが安心して遊べるポケットパークなどを作ったらどうでしょうか。



子どもたちや高齢者、障害者にも まなびの心を進めよう

働きながら安心して子育てができるよう、通勤に便利な駅直近の高架下を活用した保育施設の整備を進めます。また、大規模集合住宅には住民の世代に応じて、保育施設やデイサービス施設などの福祉施設を併設するよう求めています。と思っています。

保育園の定員を拡大し、学童保育所も含め時間延長や病児保育の充実を図ります。地域で元気な暮らしを続けるには、生涯学習施設の充実が欠かせません。先ず、老朽化した市立図書館の建て替えを進めます。IT設備を充実させ、市民が気軽に訪れ、調べ、学べる環境づくりを目指します。また、各種の市民講座も充実させ、市民自らが活動ができる環境整備を進めます。こうした取り組みにより高齢者の知識や経験を生かす場を増やすことにもつながります。障害は一人ひとり悩みが違います。それぞれの障害に合わせた対策の充実、働く場づくりが急がれます。



住み続けたい小金井



混乱した議会を正常化し、市民の手に取り戻しましょう

豊かな自然に恵まれ、地域で活発な活動をしている多くの市民の思いが市政に生かされているのかは疑問です。かつて駅周辺整備に反対する議員らによって何度も予算が否決され、稲葉市長を先頭に、私も含め街づくりを進める議員らの努力によってようやく完成を見ることができました。今では駅前広場を利用する多くの市民の皆さんに喜ばれ、増収効果も出ております。何のための反対だったのでしょうか。いたずらに開設を遅らせただけだったのではないのかと思います。貴重な時間を無駄に使ったのではないかと思わずにはいられません。

このように市民の思いや願いが生かされてこなかった原因は、身勝手な自己主張を繰り返し、悪戯に議会を混乱させ続けてきた一部議員にあるのではないのでしょうか。ごみ問題の混乱や、佐藤前市長の辞任の遠因もここにあると思います。

真に市民の声を議会に生かし、建設的・良識的な立場の議員を増やしていけないと、これからも市政は混乱し続ける恐れがあります。単に市長が、行政が、と反発するだけでは町はよくなりません。議会を市民の手に取り戻し、一緒に住み続けたい小金井を作っていきます。

小金井で元気に！ 小金井を元気に！

五十嵐京子

通信
第32号

2013年1月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町3-8-9-312

電話 042-384-9920